

今月の
いいね！

深場からの珍客

ーハコエビー



上から見たハコエビと歩く姿

【名前】

ハコエビ（十脚目イセエビ科）

【すむ場所】

千葉県以南。水深 30～200mの泥底。

【大きさ】

大きくなると体長 35cm ほどになる

【当館で見られる場所】

駿河湾の生きもの

【特ちょう】

深い泥底で採集されるため、地方によってはドロエビと呼ばれる。甲羅（こうら）は硬く、触角に節があるが、長い部分は曲げることができない。

【担当学芸員から一言】

深場のエビ・カニの仲間ではかなり珍しい種です。水槽の奥でじっとこちらをうかがっています。たまに歩く姿は、勇々として見ごたえがあります。（S.T）

トピック

かわいい魚にはトゲがある！？

現在、自然史博物館では、アカザという名前の淡水魚を展示しています。見た目はドジョウに似ていますが、実はナマズの仲間です。川の上流から中流域に生息しており、静岡県でも水のきれいな河川で見ることができます。全長は 10cm ほどで、かわいい見目をしていますが、胸びれと背びれには毒の棘があり、刺されるととても痛みます。海でもゴンズイというナマズの仲間が夜釣りによく釣れますが、アカザ同様に毒の棘を持っているため注意が必要です。これからのシーズンは、川や海で遊ぶ機会も増えると思いますが、危険な生き物もいますので気を付けて楽しみましょう。（Y.I）



アカザと岩に隠れる様子

ワサビ展示ははじめました。



ワサビ田の風景



ワサビ田キット

ワサビは漢字で「山葵」と書きますが、葉の形が葵（あおい）に似ていることから名付けられています。味や葉の特徴から徳川家康が大変気に入り、門外不出のものとなりました。今では海外でも栽培されるほどですが、ワサビは日本固有の植物で、本格的に栽培の始まった江戸時代は静岡の有東木のみで栽培していたそうです。ワサビの栽培というと水をかけ流して栽培する方法が思い当たるかもしれませんが、畑で栽培する方法もあります。水で栽培するものを水（沢）ワサビ、畑で栽培するものを畑ワサビといいます。水ワサビの栽培方法にも様々な方法があり、伊豆や静岡では主に畳石式と呼ばれる方法で栽培しています。栽培地のワサビ田には人と自然が作り出した美しい風景が広がっています。しかし、傾斜の激しい溪流沿いに作られることが多く後継者不足が問題となっている地域も少なくありません。人と自然が共存することで誕生したその風景が失われていくというのは悲しいものです。

そこでワサビ田の価値を広めるべく、自然史博物館ではこの春に特別展示を行いました。これは本学海洋理工学科の竹内真一教授の研究室に所属する学生たちが、調査で得られた知見を活用してワサビ田キットを制作し展示したものです。また GW からは、第 2 弾としてここ数年の竹内教授の研究成果と今年度の研究に関する情報やワサビの実物を展示しています。（Y.O）

☆当館 twitter にて情報発信中。

URL: <https://www.sizen.muse-tokai.jp/news/single.php?id=5421>

オオメハタ初展示！！

みなさんは「オオメハタ」という魚をご存じでしょうか。名前の通り大きな目が特ちょうの魚ですが、ハタの仲間ではなく、ホタルジャコ科オオメハタ属に属する全長 20cm ほどの深海魚です。同じ科には「アカムツ」がいますが、知名度は大違い。アカムツはノドグロと呼ばれ高級魚として大変有名ですが、オオメハタは漁業関係者や釣り人くらいしか知らないマイナーな魚。しかし大変美味しい魚で、各産地ではシロムツ（静岡ではデンやデンデン）などと呼ばれて流通しています。

深海にすむオオメハタは、飼育がとても難しい魚です。当館でもこれまでに数回の採集記録あるものの長期飼育はできておらず、展示もしたことはありません。また、他の水族館でもまず目にすることはできません。そこで、展示を目指して釣り採集を行いました。時期や輸送方法などを見直して計画をたてて、いつもお世話になっている漁師さんをお願いし船をチャーターして実施しました。その結果、数尾の生体を採集することができました。その後、予備の水槽でしばらく様子を見ていたところ、餌を食べさせることにも成功したため、3 月末から展示デビュー！！当館での初展示となりました。

是非、みなさんにもこの貴重な魚をご覧いただきたいと思います。ただデリケートな深海魚であるオオメハタ。そのため、水槽は魚が落ち着くように暗くしてあります。ですから、ご来館の際は、少し目をこらしつつお静かにご覧いただければ幸いです。（K.Y）



オオメハタ



オオメハタの捕食シーン

☆当館 twitter にて動画公開中。

URL: https://twitter.com/Muse_Tokai/status/1519920344844619776

※生物の状況により展示を急遽中止する場合があります。予めご了承ください。